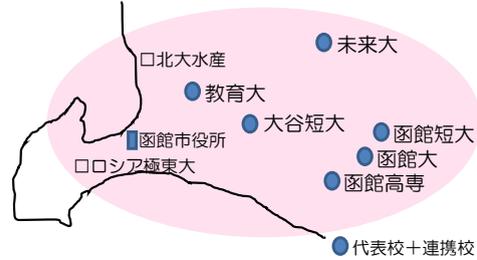


戦略的大学連携支援事業における 取組事例

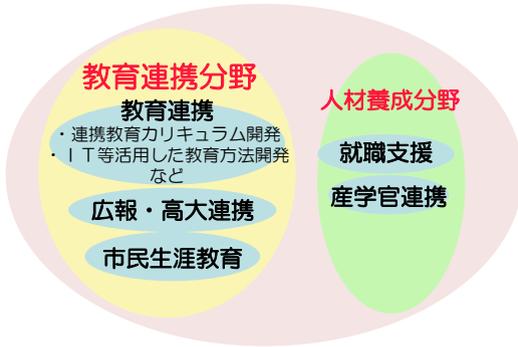
総合的連携型 (地元型)

取組名称: 高等教育機関連携による「キャンパス都市函館」構想

函館市内には専門性の異なる8つの高等教育機関があり、約10km四方の区域内に位置します。
 そのうち本事業に参加する6機関が戦略的連携を図り、より質の高い教育・研究環境を確保し、地域の総合大学的な機能を果たすことを目指します。
 教育連携分野、人材養成分野の取組を通じて、函館市の優れた都市環境と教育機関のそれぞれの専門性を融合した、「キャンパス都市函館」を目指します。



戦略的大学連携支援事業による取組内容



大学連携による地域と現代を軸とした教育とその発信



工科系コンソーシアムによるものづくり教育の拠点形成

目的

各大学等の有する建学の精神を尊重しながら、それぞれの歴史の中で培われた工科系教育研究における特色を生かして連携し、中部圏での「ものづくり」教育研究における知の拠点を形成する。

工科系コンソーシアム



取組事項

1. 小中高校生を対象とした組織的体系的な啓発活動。
2. 各校の有する個性・特色を活かした連携授業科目の開拓。
3. 留学生への教育・ケア体制を組織化、体系化。
4. 各校の特色ある分野を積極的に活用した社会人教育コースの共同開発・実施。
5. 教育研究設備の共同利用の推進による教育研究レベルの向上。

「ものづくり」の知の拠点 実践力・国際性のある人材育成